昭和七年度直轄工事年報

總論

第一　治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ著手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果、同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十

三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スル事トナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得同四十四年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

利根川　信濃川　木曾川　淀川　九頭龍川
吉野川　庄川　高梁川　遠賀川　北上川
雄物川　荒川　阿賀野川　富士川　最上川
神通川　岩木川　加古川　綾川　斐伊川
（以上二十河川）

第二期河川

天龍川　阿武隈川　筑後川　那珂川　庄内川
中川　手取川　矢作川　大和川　吉井川
馬淵川　紀ノ川　大淀川　由良川　多摩川
關川　米代川　鳴瀬川　久慈川　菊池川
鄉川　旭川　渡川　蘆田川　川内川
相坂川　千代川　鶴見川　大野川　球磨川
相模川　肱川　矢部川　狩野川　圓山川
肝屬川　太田川（靜岡）　豐川　白川　大分川

酒匂川　鈴鹿川　太田川(廣島)　名取川　仁淀川

(以上四十五河川)

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ著手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ベノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノ事ニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未著手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、產業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二臨時治水調査會ニ於テ愼重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度內ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之レガ決定ヲ見タルモノ即チ左記河川是ナリ

鬼怒川(利根川支川)　小貝川(利根川支川)　信濃川上流(新潟縣下)　犀川(信濃川支川)
野洲川(淀川支川)　木津川(淀川支川)　北上川上流　雄物川上流
最上川上流　天龍川　阿武隈川　筑後川
那珂川　庄內川　手取川　矢作川
大和川　吉井川　馬淵川　紀ノ川

大淀川　由良川　關川　米代川
久慈川　旭川　波川　蘆田川
川内川　千代川　鶴見川　大野川
相模川　肱川　狩野川　肝屬川
豐川　白川　大分川　酒匂川
鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川
新宮川　安倍川　菊川　大井川
北川　常願寺川　小矢部川　黑部川
天神川　日野川　佐波川　那賀川
土器川

（以上五十七河川）

右ノ內帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ現在信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川內及太田、安倍、多摩上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ鋭意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其改修區域ハ利害ノ關係極テ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニアラザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ內務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴

瀬雨川改修費中へ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ大正七年度ヨリ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其事業ヲ直接施行スルコトトナリ尚翌八年度ヨリハ太田川、阿賀、阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ大正十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大洪水ニ鑑ミ更ニ增補工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ亙ル工事ノ進捗ヲ遲延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施工ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ本年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓(內地方負擔二十五萬圓)ヲ繰上ゲ施工ノコトトナレリ

第一期河川中既ニ完成ヲ告ゲタルモノハ筑後川、淀川、木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川(利根川支川)、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期(江戸川、中川ヲ含ム)、荒川下流ノ十一流域ニシテ工事中ノモノハ荒川、北上川、阿賀野川、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、多摩川、千曲川(信濃川上流)、加古川、神通川、岩木川、太田川(靜岡)、阿賀阿武隈兩川、圓山川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流(新潟縣下)、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川(利根川支川)、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川(淀川支川)、川內川ト新ニ太田川(廣島)、安倍川多摩川上流ノ三箇川ヲ加ヘタル三十

七流域ナリ而シテ右ノ內附屬物及水路維持工事トシテ實施中ノモノハ木曾川、淀川、利根渡良瀨兩川、信濃川、荒川ノ六河川ナリ又各河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣成シタルハ吉野川及野洲川（淀川支川）、神通川、桂川（淀川支川）ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川、富士川、千曲川（信濃川上流）、鬼怒川（利根川支川）、常願寺川、手取川、揖斐川（舊木曾川支川）、木津川（淀川支川）、神通川ノ九河川ナリ此內淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲スモノナリトス

第二　港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ時運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益重要ヲ加ヘタレバ明治三十三年六月勅令第二百六十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絕シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ卽チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戶、關門海峽（下關、門司）、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、青森、仙臺灣內ノ一港（明治四十三年五月伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月淸水、那覇ノ兩港ヲ、同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶、宮古、大分、七尾、尾道、博多、

ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ追加シ三十一港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ三十六港トナレリ而シテ大正七年十月閣議ニ於テ港灣ノ經營ヲ內務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功セシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ起工シ又神戶港防波堤築造工事、同港修築工事、門司港修築工事、橫濱港維持工事ハ大正八年度ヨリ起工シ、下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ內神戶港防波堤築造工事、橫濱港維持工事ハ同十年度ヨリ內務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ其工費ノ二分ノ一ヲ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ、新潟港ハ同三分ノ一ヲ補助セラレ同六年度ヨリ起工(市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承)シ、長崎港ハ工費二分ノ一ヲ補助セラレ同九年度ヨリ起工シ、清水港モ同率ノ補助ニ依リ同十年度ヨリ起工シ、高松、境ノ兩港亦工費二分ノ一ヲ補助セラレ同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市施工ノ後ヲ承ケ同十二年度ヨリ工費二分ノ一ヲ補助セラレテ續工シ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戶、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦大體同一ノ補助率ニ依リ國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右補助港灣ノ工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ其外補助工事トシテ縣又ハ市ニ於テ施行スルモノアリ即チ四日市港ハ明治四十三年度ヨリ、船川港ハ同四十四年度ヨリ、青森港ハ大正三年度ヨリ、大阪港ハ同七年度ヨリ、名古屋港ハ同九年度ヨリ、那覇港ハ同十年度ヨリ何レモ大體二分ノ一ノ補助ヲ受ケ縣又ハ市ニ於テ工事ヲ施行シタル

ガ内青森港第一期ハ大正十二年度ニ於テ、新潟港ハ同十四年度、長崎港ハ昭和二年度、高松港ハ同三年度、境港及船川港ハ同六年度、鹽釜港ハ本年度ニ於テ共ニ竣功ヲ告ゲタリ

本年度ニ於テハ、既定修築費ノ一割ヲ節約シテ實行豫算トシ共既定工事ヲ施行スルノ外産業振興事業トシテ横濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上ゲ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進セントス其繰上總額百三十五萬圓(内地方負擔五十六萬圓)ナリ尚關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ産業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトナリ尚重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中本年度ヨリ改良工事ニ著手シタルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又青森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫ヨリ約二分ノ一ヲ補助セラレ是亦本年度ヨリ起工スルコトトナレリ

港灣工事中既ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港第一期、新潟港、長崎港、高松港、下關港、門司港、境港、鹽釜港、敦賀港第二期ノ九港ニシテ尚工事中ノモノハ關門海峽、鹽釜港增補、神戸港、横濱港、清水港、小松島港、今治港、鹿兒島港、伏木港、土崎港、小名濱港、宮古港、浦戸港、七尾港、尾道港、舞鶴港、博多港、青森港第二期、宇野港、三角港、大分港、細島港、若松港ノ二十三港灣ナリトス

第三　復舊及補修事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀬川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河

川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ横濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ横濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ横濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尚昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處本年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコトヽナレリ又信濃川大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度内ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ、利根渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事モ本年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事ヲ殘スノミナリトス

第四　國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ亙ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之レガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之レニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定サレタルモノナリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度

ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ擧グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ三府二十九縣十八路線ニ亙ル廣汎ナル範圍ニシテ總工事費豫算一千七百五十萬圓(工事費一千六百六十六萬七千圓、事務費十三萬三千圓)ヲ要シ其內五百五十萬圓ヲ地方ノ負擔トス而シテ各土木出張所ニ於テ其分掌區域ニ依リ分割施工シ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限リ完了スルヲ目途トシテ著手シタルモノニシテ其工事ニ使役サルヽ勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ其延人員五百八十三萬三千人ヲ豫定シ失業緩和ニ資シタリシモ同年度內ニ竣成ヲ見タルモノハ五號線ノ曾根田橋改築(福島)及國道二十六號線改修(沖繩)ノミニシテ他ノ四十七箇所ハ其工事ヲ了シタルモ一部ノ殘工事又ハ施工地ノ跡整理等未了ノ爲メ遺憾乍ラ工費ノ殘額ヲ次年度ヘ繰越シタリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎微不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算二箇月分二百九十一萬六千六百六十八圓ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ內九十二萬六千六百六十七圓ヲ關係府縣ニ分擔セシメ前年度ト同樣失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニ力ムルノ方針ヲ採リ新ニ產業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルヽ道路改良ノ急ニ

應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ即チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ亙ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザル、嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ亙ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ

右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ總額一千八百二十五萬九千七百九十九圓ノ追加豫算ヲ提出シテ其ノ協賛ヲ得内一千二百六十二萬六千四百六十六圓ヲ以テ國道ヲ改良シ内三百七十九萬二千五百圓ハ關係府縣ニ分擔セシメ前述失業救濟國道改良費豫算ト合セ青森、岩手、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、山梨、長野、岐阜、靜岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、廣島、山口、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿兒島ノ三府三十一縣下ニ於テ一號、二號、三號、四號、六號、七號、八號、九號、十號、十一號、十二號、十四號、十五號、十六號、十七號、二十五號、二十六號、三十二號ノ十八路線、六十四箇所ヲ施行スルコトヽシタリ

然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回帝國議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル道路工事ヲ起興スルガ爲メ國道改良費百十四萬五千圓ヲ計上シ内三十三萬三千三百三十三圓ハ關係府縣ニ負擔セシメ東京、埼玉、長野、青森、秋田、石川、富山ノ一府六縣下ニ於テ四號、五號、八號、九號、十一號ノ五路線七箇所ノ國道改良工事ヲ施行スルコトヽシ内埼玉、長野、秋田三縣下ノ工事ヲ除クノ外ハ既定產業振興國道改良事業ト合セ工事ヲ施行スルコトヽシタリ

以上述ベタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線、箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ東京横濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸及下關ノ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトヽシタリ各工事ノ狀況

ニ付テハ第六章ニ於テ叙述スル如クニシテ其記述ニ就テハ豫算面ニ基キ實行豫算ニ係ル失業救濟並ニ産業開發、農村振興ト夫々分割シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ資シタリ

第五　本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行シタルハ河川改修三十八、河川附屬物及水路維持五、砂防九、港灣改良二十五、復舊及補修二、國道改良百二、合計百八十一工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其任ニ當レリ而シテ是等ノ總工費豫算額ハ河川改修工事費三億一千二百三十三萬六百二十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千百九十二萬三千九百九十八圓、砂防工事費九百八十六萬二千九百六十四圓、港灣改良工事費一億二千九百八十六萬四千八百七十二圓、復舊及補修工事費四百六十八萬六千二百四十六圓、國道改良工事費三千二百七十五萬二千五十九圓、合計五億百四十二萬七百六十一圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ三億三千百五十四萬九千四十七圓ニ達シ其內本年度ノ竣功ニ屬スルモノ四千六萬六千六百七十七圓ナリトス本年度末竣功歩合ハ河川改修工事費ハ其總工費ノ六割二分ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同六割三分、砂防工事費ハ同六割一分、港灣改良工事費ハ同七割一分、復舊及補修工事費ハ同六割七分、國道改良工事費ハ九割一分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同六割六分ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降、前年度迄ニ竣功シタル各工事ノ累算額ハ二億六百四十二萬八千八百八十九圓ニシテ之ヲ前記ノ竣功額ニ合算スレバ實ニ五億三千八百萬圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス

今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前年報ニ比シ差違アルハ工事費豫算

ヲ改訂セルモノアルト、竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタル等ニ因ル表中工事名欄「六失」ハ六年度失業救濟事業、七失」ハ本年度失業救濟事業、「産」ハ産業開發事業、「農」ハ農村振興事業ヲ示シ、竣功高欄「◎」ハ縣負擔額「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ寄附又ハ提供材料竝勞力費「●」ハ千住機械工場委託製作品價額「○」ハ河川費支出額「×」ハ土木出張所流用減額「●」ハ依託工事費「■」ハ大分市及軌道會社負擔額ヲ示シ、殘高欄「△」ハ超過額ヲ示ス

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高				殘高	竣功歩合
			前年度迄竣功高	本年度竣功高	合計			
河川改修工事		円	円	円	円		円	
荒川上流改修工事	東京	二、〇三八、三八二	▲□	▲□	▲□	一、〇三四、一二八	三、〇〇三、二五四	〇・八六
北上川改修工事	仙臺	一四、三八七、四三五	□	□	□	一四、二九七、九一四	一五九、五四一	〇・九九
阿賀野川改修工事	新潟	一一、九一七、四〇〇	□◎	□◎	□◎	一一、〇七八、一二五	一一〇、〇五五	〇・九九
最上川改修工事	新潟	一三、八三一、三〇九	▲□◎	▲□◎	▲□◎	一〇、九六七、七四一	二、八六四、二四一	〇・七九
江合、鳴瀬兩川改修工事	仙臺	七、九二一、四〇三	□	□	□	五、六三七、六六一	二、三八四、七四二	〇・七〇
雄物川改修工事	仙臺	一〇、二二一、一五五	□	□	□	七、八二三、七六七	二、八〇一、三八八	〇・七四
淀川改修增補工事	大阪	一四、五一七、八五一	▲□◎	▲□◎	▲□◎	一四、二九七、九一四	一五九、五四一	〇・九九
多摩川改修工事	東京	七、四〇四、〇七	▲□	▲□	▲□	七、一九一、三五〇	二一二、七一七	〇・九七
千曲川改修工事	新潟	一二、八八一、九一	▲□	▲□	▲□	八、七九九、二九一	二、四七〇、六九四	〇・七八
加古川改修工事	大阪	五、八二四、四八五	×▲□	×▲□	×▲□	五、四八一、〇七五	三二一、八八七	〇・九四

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高 前年度迄竣功高	竣功高 本年度竣功高	竣功高 合計	殘高	竣功歩合
河川改修工事							
神通川改修工事	新潟	八、五四一、六九二	▲□	三七七、九一四	七、〇八〇、三四八	一、四四三、六五	〇・八三
岩木川改修工事	仙臺	九、六一六、六八七	□	四二三、二七四	七、六一八、一四四	一、九九八、五三三	〇・七九
太田川改修工事	名古屋	四、三一三、三一九	□	一〇〇、六〇五	四、四二一、九四六	二、〇〇〇、八九七	〇・六九
阿賀川及阿武隈川改修工事	仙臺	一三、一三五、七一九	□	七七九、八四五	九、三〇四、七三一	三、八一〇、九九八	〇・七一
圓山川改修工事	大阪	七、一七七、七七一	▲□	四四五、四八四	五、〇四八、七四一	二、一二九、四一九	〇・七〇
富士川改修工事	東京	一〇、五〇七、三七	▲□	一、一二四	七、五四八、九五一	二、九五八、一四二	〇・七一
木曾川上流改修工事	名古屋	二〇、二〇一、二〇三	▲□	二、一三八、一一三	一二、六九三、一〇三	七、五〇九、一九一	〇・六三
斐伊川改修工事	大阪	五、〇四五、五八三	▲□	一六五、一六七	三、二八〇、一五五	一、五七〇、二六一	〇・六九
信濃川上流改修工事	新潟	五、六八八、七三一	◎▲□	一四、三五九	一、一三八、八七一	三、一二九、一四七	〇・五五
天龍川改修工事	名古屋	五、一九五、四八二	▲□	一四、三五九	一、一三八、八七一	三、一二九、一四七	〇・五〇
千代川改修工事	大阪	四、六七一、九三一	▲	一、七八七	三、八八〇、八八七	一、二一一、〇四六	〇・七四
蘆田川改修工事	大阪	四、六三六、二二九	▲□	一、七八七	二、九七一、一九八	一、七八四、〇二七	〇・六一
紀ノ川改修工事	大阪	三、八三四、二五一	▲□	一四五、六八二	二、三四一、三七九	一、四九三、〇二二	〇・六一

| 工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高 前年度迄竣功高	竣功高 本年度竣功高	竣功高 合計	殘高	竣功歩合
河川改修工事							
小計（三八）	八	三二、三三〇、六三	一七八、一八五、〇九	一五、四〇六、一九	一七二、五九一、九九	二八、五九三、一〇三	〇・六二
河川附屬物及水路維持工事							
木曾川附屬物及水路維持工事	名古屋	一、四五一、三七〇	一、二五六、〇七五	四〇〇八	一、三一〇、〇八三	一四一、二八七	〇・九〇
淀川附屬物及水路維持工事	大阪	一、九七八、〇四三	▲九九七、三四四 一七、七二四	▲一八一、五六二 一二、〇〇八	▲一、一七八、九〇六 二九、五四三	七九九、一二七	〇・六〇
利根、渡良瀬兩川維持工事	東京	五、一一一、一〇三	▲三、二七七、一〇三 五八一、一五一	▲四四二、一三四 三一、八三四	▲三、八〇九、四三七 六一、九八五	一、三〇一、六六六	〇・七四
信濃川維持工事	新潟	一、四三七、六五九	八三六、一三三	九一、〇八八	九二七、三〇一	五一〇、三五八	〇・六五
荒川維持工事	東京	一、九四五、八三三	▲一二一、四五七 一六三、五八〇	▲一三〇、五三一 六四、二二九	▲二五一、八八八 二七、八〇九	一、九九三、八三五	〇・一三
小計（五）	四	一一、九二三、九九八	六、七七八、三一二	八九九、四〇三	七、四七七、七一五	四、四四六、八三三	〇・六三
砂防工事							
淀川流域砂防工事	大阪	九七〇、〇〇五	▲七二、七、一六八 三二七	▲七四、三七六 一一	▲八〇一、五四四 三二七	一六八、四六二	〇・八三
富士川流域砂防工事	東京	一、四四四、一三七	一、二四六、六三三	八四、五三一	一、四三一、一六五	一三、〇七二	〇・九九
千曲川流域砂防工事（信濃川上流）	新潟	八〇七、六九〇	▲七四、一三〇 二、一六二	▲六〇、八二六 一一	▲七九四、九五六 二、二六二	一二、七三四	〇・九八
鬼怒川流域砂防工事（利根川支川）	東京	七二、二七二	六三五、〇四五	七二、八二〇	七〇六、八〇五	四、八六六	〇・九九
常願寺川流域砂防工事	新潟	二、三六三、六六二	九八四、一五四	一九六、九五五	一、一六一、一三九	一、二〇二、四三二	〇・四九
手取川流域砂防工事	新潟	一、六一四、二四三	四〇三、一六二	一一三、四〇一	五一六、六六三	一、一〇七、五八〇	〇・三二
揖斐川流域砂防工事	名古屋	一、〇三一、七四三	三〇六、三五四	八一六、一〇	四二二、三七二	六四〇、二七一	〇・三九

| 事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高 前年度迄竣功高	竣功高 本年度竣功高	竣功高 合計	殘高	竣功歩合
港灣改良工事		円	円	円	円	円	
舞鶴港修築工事	大阪	一、三〇七、六〇八	▲ 二、一四一、一六八	▲ 一、一三一、八八三	四、〇八五、二〇二	一、〇九九、五九七	〇・二七
博多港修築工事下關	下關	三、八四四、七四〇	▲ 六〇八、七四四 三、八七四	六五六、四七二 八三八	一、二六五、一九一 四、七二二	二、五七九、七九九	〇・三三
青森港修築工事	仙臺	三、一七一、〇〇〇	—	八〇、五三三	八〇、五三三	三、〇九〇、四六七	〇・〇二
宇野港修築工事下關	大阪	二、四七、〇〇〇	—	七八、九四三	七八、九四三	二、二七〇、〇五七	〇・〇三
三角港修築工事下關	下關	二、三〇、〇〇〇	▲ 一、四〇、一四〇	▲ 六六、五七一	六六、五七一	二、二四四、七九四	〇・〇三
大分港修築工事下關	下關	一、八三、〇〇〇	—	五七、八四一	五七、八四一	一、七六、四二	〇・〇四
細島港修築工事下關	下關	一、五五、〇〇〇	—	四二、八四三	四二、八四三	一、二七、一五九	〇・〇四
若松港修築工事下關	下關	一、一〇、〇〇〇	▲ 二、一四、八四三	▲ 二、一四、八四三	四、二九、六八六	一、〇九八、一五六	〇・〇二
小計（二五）	七	二九、八六四、八七二	八一、七三二、四一四	六、八七二、八七六	九一、五五、二九〇	三八、二六九、五八二	〇・七二
復舊補修工事及							
相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	東京	四、五三、一〇六	二、八七、五五二	九八、一六〇	二、七七、一七二	二、〇一〇、〇六九	〇・六五
利根、渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事	東京	一六四、一四〇	七九、九三三	八四、〇七八	一六四、〇三一	一〇九	一・〇〇
小計（二）	一	四、六八六、一四六	二、九五、四五五	一八二、七一八	三、一四〇、二〇三	二、一〇、〇八八	〇・六七
國道一號線（戸塚）改良工事（八失）	横濱	四七一、三六三	四六、一六三	九、九二五	四七、一四八	八一四	一・〇〇
國道一號線（戸塚）改良工事（產）	横濱	四六七、〇〇〇	—	三六〇、五八〇	三六〇、五八〇	一〇六、四一〇	〇・七七
國道一號線（湯本）改良工事（八失）	横濱	四二、六三八	四〇、一五六	二、八六九	四三、〇二五	六一三	一・〇〇
國道一號線（由比）改良工事（產）	横濱	三〇〇、〇〇〇	—	二四三、五一〇	二四三、五一〇	五六、四八〇	〇・八一
國道一號線（金谷）改良工事（八失）	名古屋	三〇三、二八七	一六三、九三八	三九、三一〇	二〇三、二四八	三九	一・〇〇

道路改良工事

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高 前年度迄竣功高	竣功高 本年度竣功高	竣功高 合計	殘高	竣功歩合
		円	円	円	円	円	
國道二號線（赤間）改良工事（六ヶ年）	下關	三九〇、九六〇	▲ 三八七、五九〇	二、八三五	三九〇、四二五	五三五	一、〇〇
國道二號線（二日市）改良工事（六ヶ年）	下關	五六八、〇六二	▲ 五六三、六二九	四、四三四	五六八、〇六三	一	一、〇〇
國道二號線（二日市）改良工事（産）	下關	二四六、〇〇〇	▲	▲	▲	六二、〇七九	〇、九〇
國道二號線（古賀）改良工事（七ヶ年）	下關	四一〇、〇〇〇	▲	▲	▲	一〇七	一、〇〇
國道二號線（古賀）改良工事（産）	下關	一〇、〇〇〇	▲	▲	▲	一、〇九七	〇、九七
國道二號線（熊本）改良工事（六ヶ年）	下關	二八四、八一八	▲ 二七九、一三八	▲ 五、六八〇	▲ 二八四、八一八	一、五八一	一、〇〇
國道二號線（熊本）改良工事（産）	下關	二三〇、〇〇〇	▲	▲	▲	一、五八一	〇、九九
國道三號線（行橋）改良工事（産）	下關	三一四、〇〇〇	▲	▲	▲	四四、八一九	〇、八六
國道三號線（大分）改良工事（産）	下關	一〇〇、〇〇〇	▲	▲	▲	一五、三三七	〇、八八
國道三號線（鹿兒島）改良工事（六ヶ年）	下關	二八八、五三六	▲ 二八三、三〇一	▲ 五、三二五	▲ 二八八、六二六	二	一、〇〇
國道三號線（鹿兒島）改良工事（産）	下關	八五、〇〇〇	—	八四、六八一	八四、六八一	三一九	一、〇〇
國道四號線（梅島）改良工事（六ヶ年）	東京	七四八、三五三	五六八、三五八	三〇、四七六	六九八、八三四	一、六七九	一、〇〇
國道四號線（梅島）改良工事（七ヶ年）	東京	四五五、五〇〇	—	四五、四一二	四五九、四一二	六、〇七九	一、〇〇
國道四號線（梅島）改良工事（産）	東京	一三四、〇〇〇	—	一、〇八〇	一、〇八〇	二五、九七九	〇、八〇
國道四號線（宇都宮）改良工事（六ヶ年）	東京	八九、七〇〇	八七、七〇〇	一、九八六	八九、六八六	七	一、〇〇
國道四號線（宇都宮）改良工事（産）	東京	二〇〇、〇〇〇	—	一、八二一	一、八二一	一六〇、一七九	〇、九二
國道四號線（黑磯）改良工事（六ヶ年）	東京	二二四、三〇〇	二一四、〇一三	六五、四五七	二二、四七〇	八三	一、〇〇

改良工事

國道四號線、五號線（福島）改良工事（六ヶ失）	仙臺	二八一、〇〇〇		三三一、一五二	四二、二七八	三七四、四三〇	一六、五七〇	一・〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（六ヶ失）	仙臺	二六六、〇〇〇	▲	二七三、二八四五	▲ 二、七二一	二八六、〇〇〇 四八四	—	一・〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（產）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	—	—	一八九、〇五六	一八九、〇五六	一〇、九四四	〇・九五
國道四號線（岩手）改良工事（六ヶ失）	仙臺	三一〇、〇〇〇	—	二八八、六二五	二一、三〇七	三一〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（產）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	—	—	二三五、九八二	二三五、九八二	二四、〇一八	〇・六三
國道四號線（青森）改良工事（產）	仙臺	二〇〇、〇〇〇	—	—	一七五、三一五	一七五、三一五	一四、六八五	〇・八八
國道四號線（青森）改良工事（農）	仙臺	五〇、〇〇〇	—	—	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道五號線（秋田）改良工事（六ヶ失）	仙臺	二八六、〇〇〇	—	二八一、〇四五	四、九五五	二八六、〇〇〇	—	一・〇〇
國道六號線（金町）改良工事（產）	東京	五〇三、六〇〇	—	—	三七九、八七一	三七九、八七一	二三、六二九	〇・七五
國道六號線（相馬）改良工事（六ヶ失）	東京	一〇一、六五〇	—	一〇一、二五	五一六	一〇一、六四一	一九	一・〇〇
國道六號線（土浦）改良工事（產）	東京	一五〇、〇〇〇	—	—	一七四、二三六	一七四、二三六	七五、七五四	〇・七〇
國道六號線（水戶）改良工事（六ヶ失）	東京	二九六、五七〇	—	二七九、一四三	一七、四二一	二九六、五六四	六	一・〇〇
國道七號線（小岩）改良工事（六ヶ失）	東京	三五三、二六三	—	三四四、二六三	八、七三二	三五二、九九五	一三二	一・〇〇
國道七號線（小岩）改良工事（產）	東京	二七〇、〇〇〇	—	—	二五五、三七八	二五五、三七八	一四、六二二	〇・九九
國道七號線（市川）改良工事（六ヶ失）	東京	四八、〇〇〇	—	四二、九七一	五、〇二四	四二、九九六	四	一・〇〇
國道七號線（中山）改良工事（七ヶ失）	東京	三四、〇〇〇	—	—	一七、四八六	一七、四八六	一、四八二	〇・五一
國道七號線（中山）改良工事（產）	東京	三〇〇、〇〇〇	—	—	二五三、八六八	二五三、八六八	四六、一三二	〇・八五
國道八號線（府中）改良工事（六ヶ失）	東京	六二五、九五三	—	五九六、〇九六	二九、八〇一	六二五、八九七	五六	一・〇〇
國道八號線（府中）改良工事（產）	東京	五二六、〇〇〇	—	—	五二一、三五八	五二一、三五八	三、六四二	〇・九九

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高 前年度迄竣功高	竣功高 本年度竣功高	竣功高 合計	殘高	竣功歩合
		円	円	円	円	円	
國道							
國道八號線（府中）改良工事（農）	東京	一一〇、〇〇〇		一二九、七〇五	一二九、七〇五	九六	一・〇〇
國道八號線（淺川）改良工事（産）	横濱	二一〇、〇〇〇		一九七、〇五五	一九七、〇五五	三一、九四五	〇・九〇
國道八號線（與瀬）改良工事（産）	横濱	五五三、〇〇〇		四二一、二八	四二一、二八	一三一、六七二	〇・七八
國道八號線（猿橋）改良工事（産）	東京	二三〇、〇〇〇		一七八、三五	一七八、三五	五一、三五	〇・七八
國道八號線（河口）改良工事（六失）	東京	一五三、三五四		二、二八〇	一五三、三五四	一	一・〇〇
國道八號線（黒駒）改良工事（六失）	東京	一三一、二〇五		一、七一〇	一三一、二〇四	一	一・〇二
國道九號線（志村）改良工事（六失）	東京	三〇八、〇四六	三〇八、一七六	二〇、六二	三一一、八三七	三、四八	一・〇二
國道九號線（志村）改良工事（七失）	東京	一三八、五二〇		一二八、一五四	一二八、一五四	一四、三六六	一・〇〇
國道九號線（蕨）改良工事（六失）	東京	三四八、一一五		八、八八八	三四七、三三八	七七七	一・〇〇
國道九號線（蕨）改良工事（七失）	東京	四〇、〇〇〇		三九、八一七	三九、八一七	一八三	一・〇〇
國道九號線（浦和）改良工事（産）	東京	八〇、〇〇〇		三七、六四一	三七、六四一	九、三五九	〇・九八
國道九號線（熊谷）改良工事（六失）	東京	一三三、八八五		一二四、八一七	一二四、八一七	八、八六八	一・〇〇
國道九號線（熊谷）改良工事（農）	東京	二三〇、〇〇〇		二六九、五三〇	二六九、五三〇	四七〇	一・〇〇
國道九號線（高崎）改良工事（六失）	東京	三四一、〇〇〇		三二、七五八	三三、八一六	一八四	一・〇〇
國道十號線（碓氷）改良工事（産）	東京	三四〇、〇〇〇		二九、三八九	二九、三八九	一四、六一二	〇・八一
國道十號線、十四號線（長野）改良工事（六失）	新潟	四〇、七〇〇	三九、五三〇		三九、五三〇		〇・九八
國道十號線、十一號線（長野）改良工事（産）	新潟	二三〇、〇〇〇		三、八八	三、八八	三、八三	〇・〇二

改良工事

國道十號線（新潟）改良工事（六ヶ年）	新潟	三二、七〇〇									一、〇〇
國道十號線（新潟）改良工事（七ヶ年）	新潟	一〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十號線、十一號線（新潟）改良工事（產）	新潟	三〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十號線（秋田）改良工事（農）	仙臺	三〇、〇〇〇	▲			▲		▲			一、〇〇
國道十一號線（長野）改良工事（農）	新潟	一〇〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十一號線（富山・石川）改良工事（產）	新潟	四〇〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十一號線（富山）改良工事（農）	新潟	一五〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十一號線（石川）改良工事（農）	新潟	五〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十二號線（岐阜）改良工事（產）	名古屋	二五〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十二號線（金澤）改良工事（六ヶ年）	新潟	三〇五、五〇〇									一、〇〇
國道十四號線（長野）改良工事（七ヶ年）	新潟	五〇、〇〇〇									一、〇〇
國道十五號線（和歌山）改良工事（六ヶ年）	大阪	九九、六〇〇	▲	九三、一三九	▲	▲	六、二八七	▲	九九、四一六	一七四	一、〇〇
國道十五號線（和歌山）改良工事（產）	大阪	一五二、〇〇〇									一、〇〇
國道十五號線（奈良）改良工事（產）	大阪	二〇〇、〇〇〇	▲			▲		▲			一、〇〇
國道十六號線（大阪）改良工事（六ヶ年）	大阪	一、三六七、五〇〇	▲	一、三五六、六四三	▲	▲	一二、六四四	▲	一、四五八、九一二	一、〇八一	一、〇〇
國道十六號線（大阪）改良工事（七ヶ年）	大阪	七〇二、〇〇〇	▲			▲		▲			一、〇〇
國道十六號線（大阪）改良工事（產）	大阪	七五五、〇〇〇	▲			▲		▲			一、〇〇
國道十六號線（和歌山）改良工事（六ヶ年）	大阪	二一六、六〇〇		二〇二、六三二			一、〇二七		二二五、四六三	一一三	一、〇〇
國道十七號線（山口）改良工事（六ヶ年）	下關	二二〇、七三二	▲	二八五、八三七	▲	▲	四、八六〇	▲	二二〇、七三二	△ 一	一、〇〇

工事名	擔當出張所	工費豫算	竣功高 前年度迄竣功高	竣功高 本年度竣功高	竣功高 合計	殘高	竣功歩合
國道改良工事							
國道十七號線（山口）改良工事（一部）	下關	六六、〇〇〇	—	二、三八六	二、三八六	六三、六一四	〇・〇四
國道二十四號線（愛媛）改良工事（一部六失）	神戸	二八八、〇八八	二七九、八一九	八、二六九	二八八、〇八八	—	一・〇〇
國道二十五號線（佐賀）改良工事（一部）	下關	二〇〇、〇〇〇	—	一六五、一六六	一六五、一六六	三四、八三四	〇・八〇
國道二十五號線（長崎）改良工事（一部六失）	下關	四九、〇七四	三七三、〇一〇	三六、〇六〇	四九、〇七四	△一七	一・〇〇
國道二十五號線（長崎）改良工事（一部）	下關	三〇〇、〇〇〇	▲二〇三	▲三三、二三七	▲三三、二三七	六八、七七八	〇・七七
國道二十六號線（鹿兒島）改良工事（一部）	下關	三〇、〇〇〇	—	二九、六八四	二九、六八四	三一六	一・〇〇
合計（一〇三）	八	三二、七三二、〇九九	一五、八一一、一一三	一三、八七八、四〇六	二九、六八九、五一八	三、〇三二、五四一	〇・九一
總計（一八一）	八	五〇二、四二〇、七六二	二七一、四八二、三七〇	四〇、〇六六、六七七	三三一、五四九、〇四七	一七〇、一九一、〇五九	〇・六六

第六竣功工事

直轄河川ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和六年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列記スレバ左表ノ如シ

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算高	竣功高
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	円 一、二八四、〇〇〇	円 一、二六八、〇三四

河川改修工事								
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同	二十九年度	同	四十三年度	一〇、〇四四、〇〇〇	一〇、〇四四、〇〇〇	
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	同	二十年度	大正	元年度	九、四五四、一三八	九、四五四、一三八	
庄川改修工事	富山	同	三十三年度	同	元年度	二、七九二、四三六	二、七九二、四三六	
遠賀川改修工事	福岡	同	三十九年度	同	七年度	四、八三一、〇〇〇	四、八三一、〇〇〇	
淀川下流改修工事	大阪	同	四十年度	同	十一年度	三、七三九、六八六	三、七三九、六八六	
九頭龍川改修工事	福井	同	三十三年度	同	十三年度	五、五四五、一五一	五、五四五、一五一	
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木、埼玉	同	四十三年度	昭和	元年度	一一、四〇〇、〇〇〇	一一、三七〇、三三三	
信濃川改修工事	新潟	同	四十年度	同	二年度	二三、五四一、九五〇	二三、五三八、二一六	
吉野川改修工事	徳島	同	四十年度	同	二年度	二、三〇一、六二八	二、七九一、三八五	
高梁川改修工事	岡山	同	四十年度	同	二年度	七、八二六、一〇六七	七、八二六、一〇六	
利根川改修工事	東京、埼玉、千葉	同	三十三年度	同	五年度	六三、四〇三、一一七	六三、三五八、四〇六	
荒川下流改修工事	茨城、栃木、群馬、埼玉、東京	同	四十四年度	同	五年度	三一、三四四、〇〇〇	三一、三四二、一四六	
小	計（一三）		—		—	一八七、八〇二、五二一	一八七、三八、八四三	
砂防工事								
吉野川流域砂防工事	徳島	大正	四年度	大正	九年度	一五〇、〇〇〇	一四一、一五八	
野洲川流域砂防工事	滋賀	同	四年度	同	十三年度	六〇、〇〇〇	五九、八三三	
神通川流域砂防工事	岐阜	同	八年度	昭和	五年度	二七六、八三八	二六六、五七六	
桂川流域砂防工事	京都	同	五年度	同	六年度	九五、一〇〇	九四、九六三	
小	計（四）		—		—	五八一、九三八	五七一、六八〇	
港湾改良工事								
敦賀港修築工事	福井	明治	四十二年度	大正	二年度	八〇〇、〇〇〇	七三三、二一〇	

工事名	地方名	着手年度	竣功年度	豫算高	竣功高
港灣改良工事					
新潟港修築工事	新潟	大正六年度	同十四年度	二、三四二、一〇七	二、三三六、九〇一
長崎港修築工事	長崎	同九年度	昭和二年度	二、四九〇、〇〇〇	二、四三三、七六八
高松港修築工事	香川	同十一年度	同三年度	二、一〇〇、〇〇〇	二、一八八、八四四
下關港修築工事	山口	同十年度	同四年度	三、四四二、〇〇〇	三、一二二、二一〇
門司港修築工事	福岡	同八年度	同六年度	五、八九〇、〇〇〇	五、六五七、六八三
境港修築工事	鳥取	同十一年度	同六年度	一、九五五、七四四	一、九四四、八四〇
小計（七）		—	—	一九、三九一、八八一	一八、三七一、四一六
總計（二四）		—	—	二〇七、四一三、三三〇	二〇六、四二八、八八九